

2011年夏(6月～8月)の東北地方の天候

- 高温
- 遅い梅雨入り、かなり早い梅雨明け
- 東北太平洋側の少雨

(1) 2011年夏(6月～8月)の天候

6月上旬・中旬は高気圧におおわれ晴れの日が多かった。6月下旬から7月上旬は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、東北日本海側で降水量が多くなった。7月中旬から8月前半は太平洋高気圧におおわれ晴れの日が多かったが、7月下旬に太平洋高気圧の張り出しが一時弱まり曇りや雨の時期があった。また、前線の活動が活発となり「平成23年7月新潟・福島豪雨」と命名した豪雨があった。8月後半は太平洋高気圧の張り出しが弱まり前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

気温は、6月は高温と低温が交互に現れたが、7月上旬から中旬や8月前半は高温が続き、7月下旬や8月後半に一時低温の時期があったものの、夏の平均気温は高くなかった。

梅雨入りは、東北南部、東北北部ともに6月21日ごろで、いずれも平年より遅かった。梅雨明けは、東北南部、東北北部ともに7月9日ごろで、いずれも平年よりかなり早かった。

東北太平洋側では夏を通してまとまった雨となることが少なく、夏の降水量はかなり少なかった。

3か月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。3か月間降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり少ない。3か月間日照時間は東北地方で平年並。

6月： 上旬から中旬は、梅雨前線が本州の南岸付近に停滞した。上旬は移動性高気圧におおわれ晴れの日が多く、中旬は天気が周期的に変わった。下旬は太平洋高気圧が本州の南で強まり梅雨前線が東北地方まで北上して停滞したため、曇りや雨の日が続き大雨となった日が多かった。梅雨前線に向かって南西から暖かく湿った空気が流れ込んだため東北日本海側で降水量が多くなった。

月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

7月： 上旬は天気は数日の周期で変わったが、南から暖かい空気が入り気温はかなり高くなかった。梅雨明け後の中旬は太平洋高気圧におおわれ晴れの日が多く、気温がかなり高くなかった。下旬は太平洋高気圧の張り出しが弱まり、前線や気圧の谷、オホーツク海高気圧の影響を受け、曇りや雨の日が多く、気温は低くなかった。27日から30日にかけては、「平成23年7月新潟・福島豪雨」と命名した豪雨があった。

月平均気温は東北地方でかなり高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

8月： 月の前半は高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が続き、降水量は少なかった。上旬のはじめはオホーツク海高気圧の影響を受け、東北太平洋側を中心に低温となった。月の後半は太平洋高気圧の張り出しが弱まり、前線の影響を受けて曇りや雨の日が多く、下旬のはじめは寒気の影響で低温となった。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

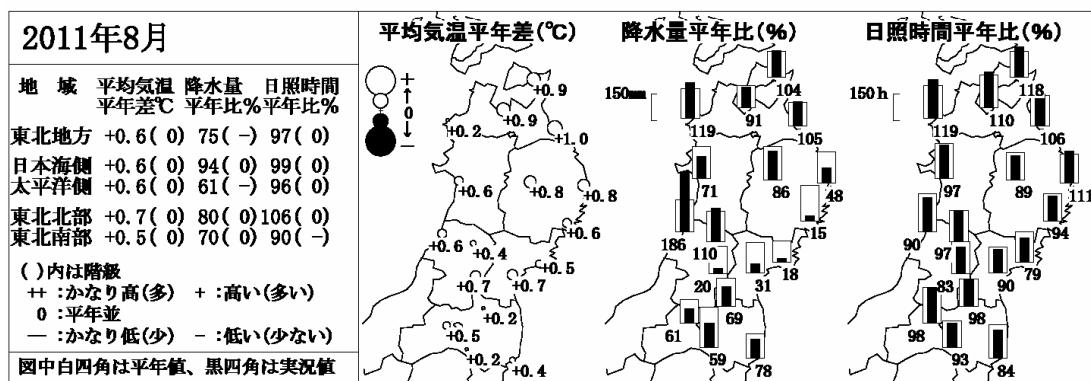
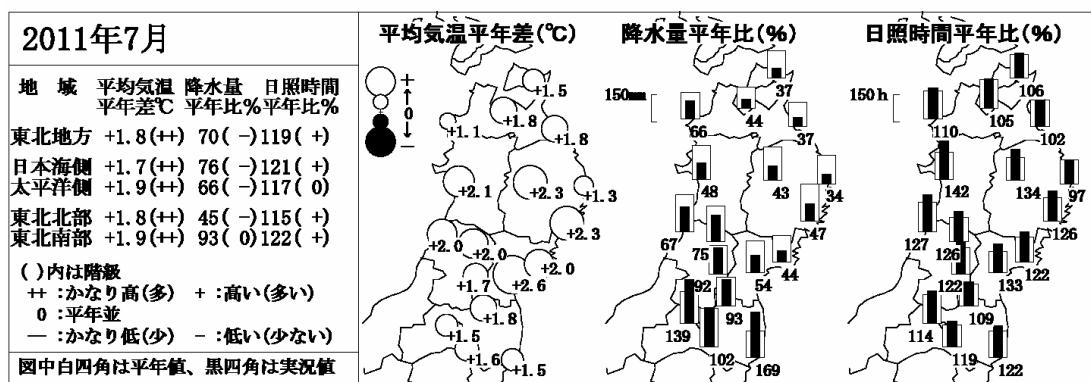
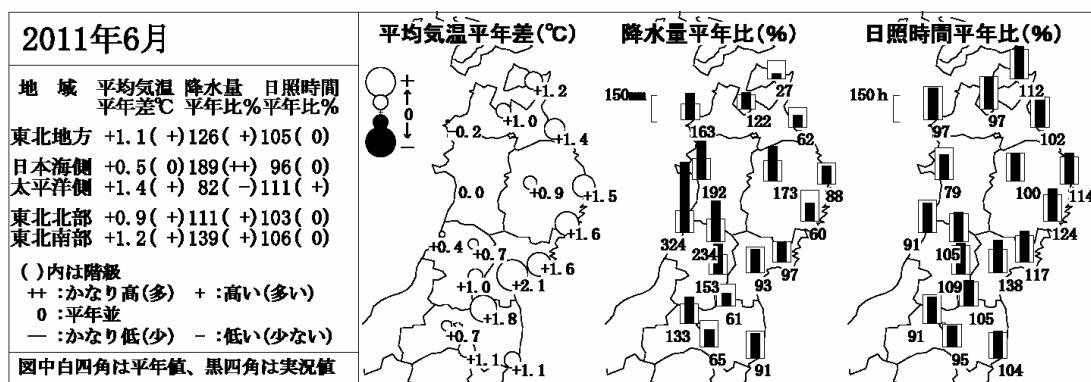
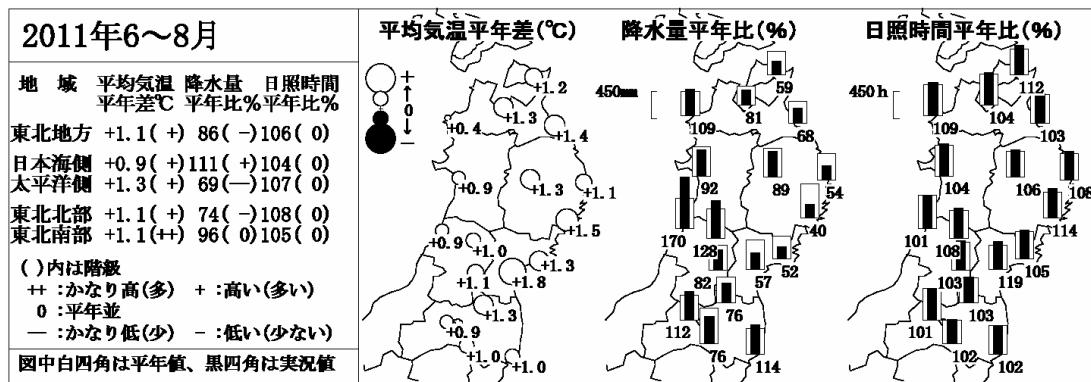
(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(2) 2011年夏(6月～8月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2011年夏（6月～8月）の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	21.8	(+1.3)	+	256.0	(81)	-	26	538.4	(104)	○
深 浦	21.0	(+0.4)	○	441.0	(109)	+	27	563.9	(109)	+
む つ	20.2	(+1.2)	+	232.5	(59)	-*	19	492.5	(112)	+
八 戸	21.0	(+1.4)	+	251.5	(68)	-	28	499.7	(103)	○
秋 田	23.2	(+0.9)	+	442.0	(92)	○	25	540.2	(104)	○
盛 岡	22.5	(+1.3)	+	427.0	(89)	○	31	459.2	(106)	○
大 船 渡	22.0	(+1.5)	+*	229.5	(40)	-*	29	490.2	(114)	+
宮 古	20.5	(+1.1)	+	239.5	(54)	-*	28	479.5	(108)	○
仙 台	23.4	(+1.8)	+*	282.5	(57)	-*	24	473.6	(119)	+
石 卷	22.2	(+1.3)	+*	197.5	(52)	-*	20	475.8	(105)	○
山 形	23.8	(+1.1)	+	343.0	(82)	-	31	495.7	(103)	○
新 庄	22.8	(+1.0)	+	629.0	(128)	+	34	501.1	(108)	+
酒 田	23.7	(+0.9)	+	863.5	(170)	+*	29	558.1	(101)	○
福 島	24.3	(+1.3)	+	330.0	(76)	-	34	427.1	(103)	○
若 松	23.8	(+0.9)	+	473.5	(112)	+	36	525.3	(101)	○
白 河	22.4	(+1.0)	+	451.5	(76)	-	43	399.5	(102)	○
小 名 浜	22.5	(+1.0)	+	495.5	(114)	○	32	484.2	(102)	○

(注) 1. 平年値は 1981~2010 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

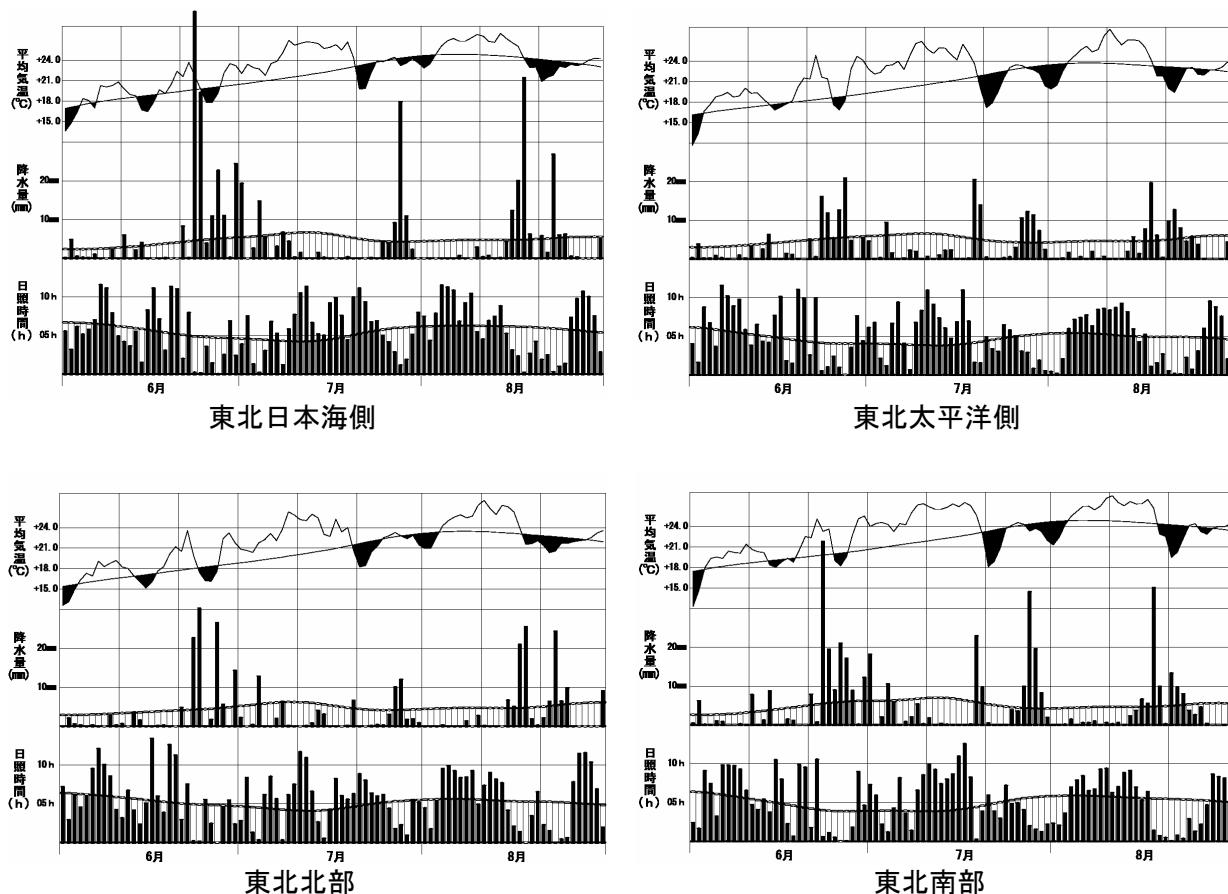
各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計月数（統計に用いた、品質が十分な月別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

(4) 2011年夏(6月～8月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2011年夏(6月～8月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

3か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
3	仙台	23.4	+1.8	24.3 (2010)	1927	21.6

3か月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

3か月間降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	酒田	863.5	170	916.2 (1947)	1937	508.1

3か月間降水量少い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	大船渡	229.5	40	110.5 (1973)	1964	573.6

3か月間日照時間多い方からの順位更新

3位以内はなし

3か月間日照時間少い方からの順位更新

3位以内はなし

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の1位のみ。)

※極値の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月降水量多い方からの極値更新

月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
6月	新庄	298.0	234	288.5 (1990)	1958	127.2
	酒田	391.0	324	355.0 (1990)	1937	120.7

(7) 2011年夏(6月～8月)の真夏日・猛暑日・日最低気温25℃以上の日数と今夏の最高気温

	真夏日								猛暑日	日最低気温 25℃以上	今夏(6月～8月)の 最高気温 (℃)	(起日)				
	6月		7月		8月		夏									
	今年	平年	今年	平年	今年	平年	今年	平年								
青森	2	0.5	5)	3.5	11	7.5	18	11.5	0	0.2	0	0.3	34.9 8月14日			
深浦	0	0.0	2	1.0	1	4.3	3	5.3	0	0.1	1	0.3	31.6 7月19日			
むつ	0	0.1	2	1.8	6	3.9	8	5.8	0	0.0	0	0.0	32.6 8月11日			
八戸	1	0.6	7	4.6	9	7.0	17	12.2	0	0.5	1	0.4	34.8 8月10日			
秋田	0	0.4	14	4.5	13	11.6	27	16.6	1	1.2	4	2.6	35.6 8月5日			
盛岡	1	1.0	13	6.0	11)	10.9	25	17.9	0	0.5	0	0.1	34.1 8月6日			
大船渡	3	0.6	9	3.7	10	5.4	22	9.6	2	0.3	1	0.1	35.4 7月10日			
宮古	2	0.6	5	4.1	9	6.5	16	11.2	2	0.3	0	0.0	35.6 8月15日			
仙台	4	0.7	14	5.7	13	9.6	31	16.0	1	0.5	4	1.3	35.4 8月16日			
石巻	2	0.2	6	2.4	8	4.5	16	7.1	1	0.0	1	0.4	35.6 7月10日			
山形	6	2.9	19	11.6	18	17.9	43	32.3	4	3.9	2	0.4	36.5 8月14日			
酒田	1	0.8	16	6.4	17)	14.5	34	21.6	1	1.7	5	2.8	35.4 8月5日			
新庄	4	1.5	17	7.7	17	14.2	38	23.3	0	1.0	0	0.2	34.7 7月9日			
福島	9	4.3	23	13.2	20	18.4	52	35.9	14	6.2	5	3.6	36.7 8月14日			
若松	4	2.9	21	12.1	21	19.1	46	34.1	5	2.8	0	0.2	36.5 7月11日			
白河	3	0.8	15	7.9	15	11.8	33	20.5	0	0.1	0	0.0	34.7 7月10日			
小名浜	1	0.3	2	2.3	8	4.5	11	7.1	0	0.1	3	0.6	33.5 8月12日			

今夏(6月～8月)の最高気温の「*」は日最高気温の1位の値を更新。

(注) 値の横に) がある場合には、日数を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。

(8) 2011年夏（6月～8月）に日本（本土）に接近した台風

今年の台風は、8月31日現在12個発生している。夏（6月～8月）の台風発生数は平年（11.1個）を下回る10個、本土接近数は平年（3.0個）を下回る1個、上陸数は平年（1.6個）を下回る1個だった。

7月12日に発生した台風第6号は、18日に四国の南を北上、19日には徳島県南部に上陸した後、潮岬付近を通過、その後本州の南海上を南東進した。この台風の影響で、19日から20日にかけて東北太平洋側に湿った空気が入り、福島県、宮城県、岩手県で大雨となったところがあつた。

今年と平年の月別の台風発生数、上陸数、本土接近数（2011年8月31日現在）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	今年					2	3	4	3					12
	平年	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
上陸数	今年							1						1
	平年					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
本土 接近数	今年					2		1						3
	平年				0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0		5.5

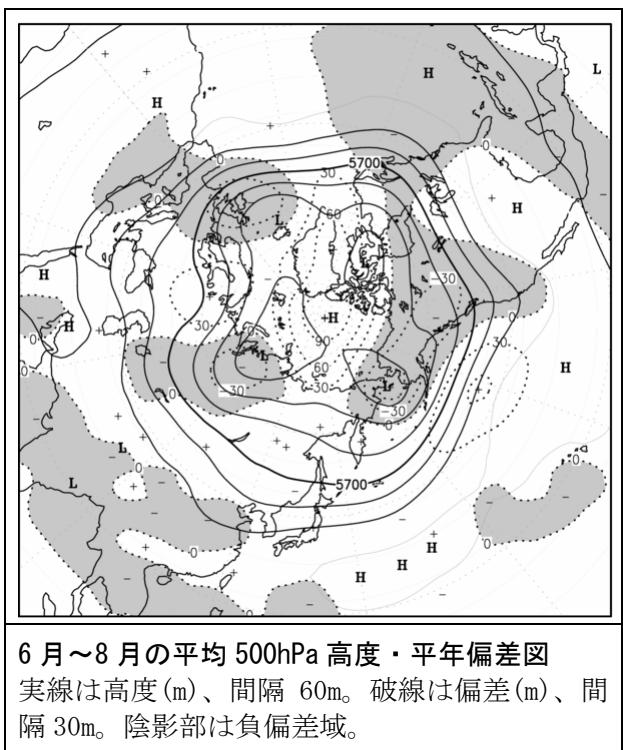
(9) 東北地方の梅雨入り・梅雨明けと梅雨時期の降水量

地域	梅雨入り		梅雨明け		梅雨時期の降水量 平年比（注2）
	今年	平年	今年	平年	
東北南部	6月21日ごろ	6月12日ごろ	7月9日ごろ	7月25日ごろ	仙台 71% 山形 117% 福島 79%
東北北部	6月21日ごろ	6月14日ごろ	7月9日ごろ	7月28日ごろ	青森 75% 盛岡 91% 秋田 104%

（注1）梅雨は季節現象であり、その入り・明けは平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。このため、時期の表現は「移り変わり」の期間の概ね中日をもって「**日ごろ」としています。

（注2）東北地方の主な地点における梅雨の時期（6月～7月）の降水量を平年比で示しています。

(10) 北半球の大気の流れ (6月～8月)



北極付近は明瞭な正偏差の一方、北緯 50 ～60 度帯の所々では負偏差で寒気が流れ込んだ。日本付近は広く正偏差で、東北地方は高温となった。この正偏差の大きさは大きくなく、太平洋高気圧の張り出しが夏平均としては平年程度だった。